

ZOOM55

ズーム・ゴー・ゴー

4・5月
合併号
Take Free

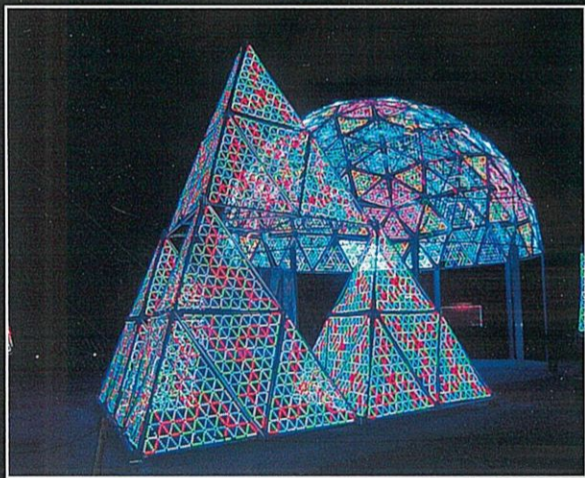
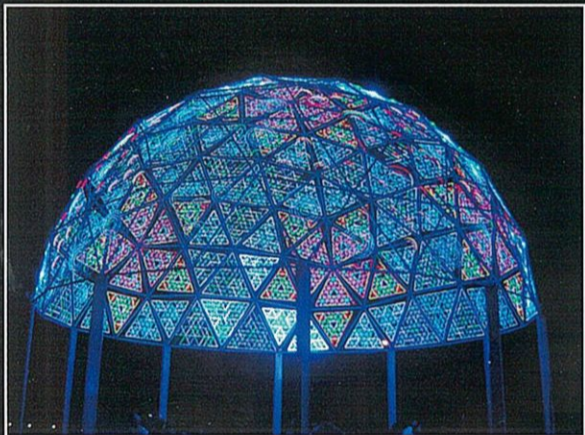
風を感じて、光と遊ぶ—その先の南徳島へ。日和佐道路編

徳島県阿南市と、高知県安芸市を結ぶ「阿南安芸自動車道路」のうち、阿南市と美波町を結ぶ「日和佐道路」の工事情報をお知らせしながら、沿線の地域情報をおとどける、エリア情報誌です。

活性化の起点となる光のイベントは、「阿南」を認知してもらう大切なイベントです。

今、県南が変わろうとしています。日和佐町の楽市楽座、由岐町のわいわいkiki、伊勢エビ祭りなどの産直市は、地域の方々がイニシアティブをとり活動が行われている町おこしイベントです。今回ご紹介する「夢と光のファンタジー」も同様に、地域の方々が生み出した手作りイベント。初めは富岡商店街を中心に小さなイベントとして始まったものが、少しずつ参加する人たちが増え、規模が大きくなり、現在まで育ってきました。現在の設置されているドームは、直径12m、高さ10mにもなります。このドームなどの光源として利用しているLED（発光ダイオード）は、その業界でも有名な地元企業から提供を受け、初年度は10万個、現在は100万個ものLEDを使用。点灯に使う電力も阿南市で作られています。考えようによれば、各地の産直市同様に、地元でとれた（生産された）ものを材料に使った、地産地消イベントとも考えられます。阿南市だからこそ

実現できたイベントであることは間違いありません。先の委員長からバトンタッチされたカタチで現在実行委員長を務める四宮さんは、このイベントをもっと大規模にすると共に内容も充実させていくこと。そして、このイベントが核となって「阿南」が認知され、その効果として阿南市の魚介類などの物産や美しい海も広く認知され、市の活性化と観光客誘致の起点となれば、と考えています。それは、このイベント単体では、次に出てくる新しいイベント、大きなイベントには流れてしまう。しかし、このイベントと地域の魅力が結びつければ、飽きられることのない、末長く愛される阿南市となれるのじゃないか、そのためにも、まずこのイベントで「阿南」の知名度を上げることが大切だ、と考えているからです。また、このイベントが美波町など、県南への玄関としての役割を果たし、より大きな魅力とパワーを一緒に生み出せるよう頑張っていきたいとおっしゃっていました。



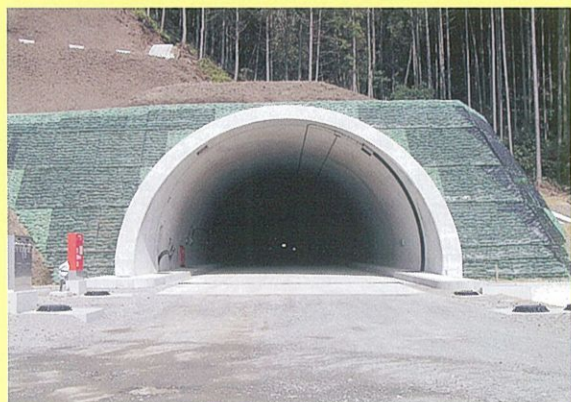
町の手作りイベントから始まった、世界に類を見ないLEDによる光のイベント。

「夢と光のファンタジー」は、夏と冬の年2回催されます。次の開催は、7月中旬を予定。

●お問い合わせ先
阿南光のまちづくり協議会事務局(阿南商工会議所内)
TEL0884-22-2301
URL/ <http://www.anancci.or.jp>
E-mail/ anancci@anancci.or.jp

阿南光のまちづくり協議会 実行委員長 四宮浩さん

日和佐トンネル(仮称)の名称が決定しました!



「美波ゆめトンネル」

平成13年7月に着工した由岐←→日和佐間を結ぶ日和佐トンネル(仮称)は、現在、一部工事を除きほぼ完成いたしました。ふたつの町を結び地域間の交流を促進し、地域の活性化を図るこのトンネルに、1月20日～3月10日までの間、新たな名称を募集してまいりました。その結果、応募総数:290通、応募名称種数:126種ものご応募を頂きました。その中より厳正な審査を行い、地域の夢の実現と広がり願って考案された「美波ゆめトンネル」に名称を決定させて頂きました。尚、この「美波ゆめトンネル」を名付けて頂いた方に「名付け親賞」を、そして、その他のご応募頂いた方の中より「敢闘賞」「アイデア賞」「ユーモア賞」などを選ばせて頂きます。発表は、ご本人に直接連絡させて頂きます。たくさんのご応募、誠にありがとうございました。



応募総数:290通
応募名称種数:126種ものご応募を頂きました。





今、日和佐道路は、 こんな工事を実施してきます。

環境や安全への配慮は工事に携わる人間として当然のこと。もっと大切なことがあるのです。今回取材して感じたのは、工事地域の方たちのお付き合いは、頻繁にきめ細かに行われているのだということ。そして、高齢化と過疎化が進む地域だけに、様々な部分で多くの配慮が必要だということでした。私たちの目に見えないところで、道づくりと人間関係づくりが行われています。

工事中は、何かとご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。



福井トンネル工事

福井トンネル工事

大林・不動共同企業体
福井トンネルJV工事事務所

美波町と阿南市をつなぐトンネルは、工期の2/3が終了しました。地域への工事の影響を最小限に抑えるために、トンネル中央部分に作業トンネルを設け、両側へ掘り進む工法を採用しています。

平成16年2月から始まった工事でも、2年が経過し、順調に進行しています。この福井トンネルは、由岐地区と福井地区を結ぶ全長1,279mの長いトンネルです。工法は両側、または片側坑口から掘り進むのではなく、トンネルの中央部に作業用のトンネルを設け、両側坑口に向け掘り進む方法を採用しています。これにより、作業用トンネルを民家から遠ざけ、工事騒音などの問題を軽減しています。更に、工事で進む発破作業などの騒音に対しては、遮音材と吹付コンクリートを使用した防音壁を設けて対処しています。また、工事中に出る濁水も濁水処理プラントにより処理された後、放流しています。工事で出る廃棄物も徹底した分別作業を行い、リサイクルなどの環境保全に努めています。

このようにきめ細かな環境の配慮を行っています。地域の方々とコミュニケーションを大切にするのも大切なことです。この工事を始める頃から工事地域周辺のお宅を丁寧にまわり、工事への理解を深めてきました。取材当日も所長自ら近所のお宅を訪ね、工事による倒木などの説明を行いました。特にコミュニケーションを大切にしているのは、この地域に老人の一人暮らしが多いことも理由のひとつです。工事の報告などにお宅を訪れた際、皆さんから大変喜んでくださいます。そして、その笑顔を見ると、この仕事をしていることに喜びを感じると、工事のスムーズな進行に繋がってまいります。

工事は今後も続きますが、これからも地域の方との密接な関係づくりを行いながらスムーズに工事を進め、安全と環境保全を考えて作業にあたります。

このようにきめ細かな環境の配慮を行っています。地域の方々とコミュニケーションを大切にするのも大切なことです。この工事を始める頃から工事地域周辺のお宅を丁寧にまわり、工事への理解を深めてきました。取材当日も所長自ら近所のお宅を訪ね、工事による倒木などの説明を行いました。特にコミュニケーションを大切にしているのは、この地域に老人の一人暮らしが多いことも理由のひとつです。工事の報告などにお宅を訪れた際、皆さんから大変喜んでくださいます。そして、その笑顔を見ると、この仕事をしていることに喜びを感じると、工事のスムーズな進行に繋がってまいります。



JVの若手職員
石川さん、藤田さん、笹井さん(左から)



皆さんの目に触れる坑口は、作業用のトンネルの坑口です。



本トンネルは広く、大きな掘削機もご覧のとおりです。



作業トンネルは、本トンネルの半分ほどの大きさです。



作業トンネルと本トンネルの交差点場所。

突撃レポート



遠藤 拓二さん



日和佐道路 工事現場探訪 第4回

日和佐道路建設に携わるあの人、この人。

福井トンネルの主任技術者を務める遠藤拓二さんの
心意気やプライベートを語っていただきました。

将来胸を張って向き合える物を造る。それが今の仕事です。

北九州出身の遠藤さんは、自分が造った物が形となって残る仕事に就きたい、という理由から土木系の大学に進み、現在務めている不動建設へ就職しました。不動建設は、現在東京に本社があるのですが、実は、会社の起りこは徳島だそうです。

仕事の際は、安全と環境に配慮しながら丁寧に進めるということです。そして、やはり地域の方々との交流はとても大切にしています。

仕事柄、今回の工事のように3年間も同じ場所で暮らすのは稀のようで、北の脇海水浴場の近くに住まいを構え、夏の海水浴をはじめ徳島の自然を満喫されているそうです。いつも一緒に遊んでいるお子様もそろそろ小学校へ入る年頃となり、学校のことなどが少し気になり始めたそうです。

遠藤さんの夢は、将来自分の造った道路などを巡る旅をすること。自分と係わった地域と仕事を、後年も見て回れるのは、この仕事

私の仕事のこだわり。
自然を大切に、そして地域の人たちとのコミュニケーションを大切に!

に就いている者の特権かも知れません。時代を超えて残っていくものだけに、欠陥や手抜きは許されず、数年後、胸を張って向き合えるよう、今しっかりと仕事をしなくてはなりませんね、と笑っていらっしゃいました。

プロフィール
大林・不動共同企業体(不動建設株式会社)
土木グループ主任技術者 遠藤 拓二(えんどうたくじ)
●生年月日/昭和41年12月19日
●血液型/A型 ●趣味/アウトドア、読書

地域が一丸となった手作りイベント

町中ギャラリー開催

4月1日(土)～10日(月)

旧日和佐町の街をもっと元気にしたい！という願いから、主婦たちの手作りイベント「町中ギャラリー」が開催されます。開催中は、街の商店や民家を利用したギャラリーが登場。主婦たちが手作りした手芸・工芸・アートなどが展示されます。また、ZOOM55でも紹介した「カツオバーガー」など、郷土色豊かなグルメを味わえるとのこと。皆さんも是非足をお運び下さい。当日は、町にある手作りギャラリーマップで各開催場所をご確認下さい。

主催：ちよびり元氣になりたい仲間たち
後援：日和佐町(美波町)、道の駅日和佐

道の駅日和佐二周年に合わせたスペシャルイベント

「駅からウォーク」

「町中ギャラリーウォーク」

JR日和佐駅に併設されている道の駅日和佐の二周年記念に合わせて、4月2日(日)にはJR阿南駅主催の「駅からウォーク」が、そして、9日(日)にはちよびり元氣になりました仲間たち主催の「町中ギャラリーウォーク」が行われます。両イベントとも気軽に参加できるので、ご家族やお友達とご参加下さい。また、当日は、道の駅日和佐の特売なども行われます。

●お問い合わせ先：0884-771-0751(牧野まで)
0884-771-1744(戸田浦まで)

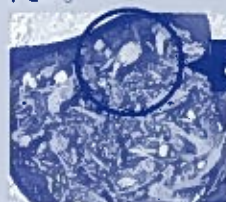
どんぐり探検隊

成長レポート

一番に芽を出した 由岐保育園のどんぐり。

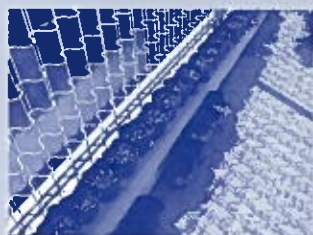


昨年10月に行われた「どんぐり探検隊」は、来年春の日和佐道路開通記念に自分たちで育てたどんぐりを植樹するため、そして地域の自然の豊かさや大切さを体験しながら理解してもらうために行われました。どんぐりは木の実を食料として動物たちに提供するだけでなく、広葉樹として森の保水機能にも大きく貢献しています。子供たちが自然界でのどんぐりの役割を理解し、身近で育てることで、自然の尊さを学び、将来自然環境の保護・育成に協力してもらえればと思います。「どんぐり探検隊」で収集したどんぐりは、参加した幼稚園や小学校で植えられ、その成長を待っています。そして、由岐保育園で最初に発芽が確認されました。子供たちが天気の良い日には水をやり、発芽を今か今かと心待ちにしていたどんぐりです。実はこのどんぐり、10月植えられ発芽自体は早かったようですが、それから成長がストップ。発芽した状態のまま越冬しました。それでも子供たちは、早く大きくなれと毎日のように観察しています。春を迎え暖かくなり始めると、この芽もどんどん成長していくでしょう。また、他で植えられたどんぐりたちも発芽し、元気に育ってくれるにちがいありません。これからもどんぐりの成長レポートをお届けしますので、楽しみにお待ち下さい。



どんぐりの芽

発芽したどんぐり。まだどんぐりのカタチが残っています。



どんぐりが植えられた鉢植えは、陽当たりの良い所に並べられています。



0歳児～5歳児まで、総勢49人がどんぐりの成長を楽しみにしています。



祝
道の駅日和佐
一周年



みんなで
来てね!



アンケートにお応えください。

1. 日和佐道路を知っていますか?
a. よく知っている b. 聞いたことはあるが、あまり知らない
c. 知らない d. わかってきた
2. 日和佐道路で、知りたいことがありましたら、ご記入ください。

3. 地域と道路の関係についてご意見をお聞かせ下さい。

4. 街づくりの話題や、地域のトピックスがありましたら、お教えてください。

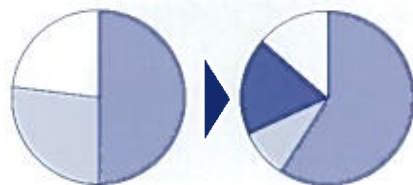
5. 本誌の内容について、ご意見、ご感想をお聞かせください。
a. 良かった b. 悪かった c. どちらとも思わない

6. どこでZOOM55を入手しましたか?
a. 新聞折り込み b. 広報誌 c. 道の駅 d. その他()

7. ZOOM55パンダナ いる いない

アンケートにたくさんのお返事を頂き、ありがとうございます。

日和佐道路の役割を多くの方に理解して頂いています。



よく知っている
聞いたことはあるが、あまり知らない
わかってきた
知らない

ZOOM55発行時、日和佐道路を知らない方が多くいらっしゃいましたが、工事の進行に伴い、日和佐道路の認知度も上がり、その役割も理解され始めました。

ZOOM55は、昨年9月発行以来、今回の4・5月号で4回目の発行となります。各号にアンケートを掲載し、皆様のご意見をお伺いしてきました。その結果、私たちのつくる道路の大切さを再確認することができました。皆様のご意見を大切にしながら、これからも道路づくりを行ってまいります。今後も皆様の忌憚ないご意見をお聞かせ下さい。

道路づくりにこんなご意見が寄せられました。

多く寄せられたのは、「道路には、地域の発展と利便性の向上を期待する」「道路づくりの際には、環境保全に考慮しなくてはならない」というご意見でした。

そして「この道路の開通を機に、地域でのイベントを行ってはどうか」「植樹など、地域づくりに協力して欲しい」などのご意見ご要望も頂きました。また、道路と景観の調和を望む声も頂きました。

これらのご意見やご要望を実現するために、私たちが頑張っていこうと思います。

日和佐道路 Q & A

読者のみなさんから、たくさんご質問をいただきました。その中から、特に多かったご質問にお答えいたします。

Q 大きな地震にも耐えられるような構造になっているのか?

A 阪神淡路大震災以降、様々な基準が見直されました。日和佐道路については、全て新たな基準に基づき設計・施工されています。

Q 台風が来ると通行止めになるのか?

A 現国道55号は、台風等の異常気象時には、通行止めになることがありました。日和佐道路はそのような場合にも迂回路として利用できるよう計画されたものです。

日和佐道路エリアの3つの市と町が、 統合と合併により2つの市と町へ。 未来へ向けて大きな発展が期待されます。



1市2町が合併した 阿南市

合併後の面積: 279.39km²
合併後の人口: 80,625人

工業を中心に発展し経済都市として地域の中核をなしてきた阿南市と、一般国道55号バイパスの開通により阿南市と徳島市のベッドタウンとして人口が増加しつつある那賀川町と羽ノ浦町がひとつになります。今回の合併は、●子育て支援や高齢者への福祉サービスの安定的な供給。●特別職(市長等)、議員、職員数の削減による経費を行政に転用。●広域的な視点から道路や市街地の整備を進める一体的な町づくり。●専門職の確保、育成を行い、より高度な広い分野のサービスを提供。●現在、阿南市・那賀川町・羽ノ浦町が共同で行っている業務(ゴミ・し尿処理・消防業務)をより効果的に運営。●既存の公共施設(文化・スポーツ施設等)や、システム等の広域的な有効運営・活用。●国民健康保険や介護保険の安定した運営。●各地域の豊かな資源を共有することによる魅力ある町づくり、を目標としています。これらを実現するためにも、市民と一体となった町づくりを目指しています。

な町づくり。●専門職の確保、育成を行い、より高度な広い分野のサービスを提供。●現在、阿南市・那賀川町・羽ノ浦町が共同で行っている業務(ゴミ・し尿処理・消防業務)をより効果的に運営。●既存の公共施設(文化・スポーツ施設等)や、システム等の広域的な有効運営・活用。●国民健康保険や介護保険の安定した運営。●各地域の豊かな資源を共有することによる魅力ある町づくり、を目標としています。これらを実現するためにも、市民と一体となった町づくりを目指しています。

2町が合併した 美波町

合併後の面積: 140.85km²
合併後の人口: 8,878人

山海に囲まれ恵まれた自然と漁業を中心とした産業、これら類似した構造を持つ日和佐町と由岐町が合併しました。この合併により、●現在も進行している少子・高齢化への対応。●地方交付税に依存した財政構造への対応。●地方分権化への対応。●地域住民の生活圏の拡大への対応。●新たな産業の活性化への対応。●定住基盤の充実への対応。●安心して住める地域づくりへの対応、を図ります。特に、過疎化や高齢化という問題が大きく、今後、介護などの福祉や医療面といった行政需要の増大が予想されます。それにとまじ、これまで以上のきめ細かな公共サービス提供が必要となってきます。このような状況に立ち向かうために、行政の効率化を図ると共に住民と行政が一丸となり、より元気な地域づくりを行ってまいりたいと考えています。また、現在も各グループが行っている地域活性化への取り組みを育てていくことも大切だと思っております。

4月・5月 イベント・カレンダー

市町村	イベント名	日程	お問い合わせ先	連絡先
阿南市	津乃峰公園さくらまつり	4月2日	阿南市商工観光労政課	TEL0884-22-3290 http://www.city.anan.tokushima.jp
	岩脇公園さくらまつり	4月2日		
	加茂谷鯉祭り	4月24日～5月13日	加茂谷公民館	TEL0884-25-0113
美波町	日和佐さくら祭り	4月2日	美波町役場産業振興課	TEL0884-77-3617 http://www.town.minami.tokushima.jp
	桜街道夢マラソン	4月2日	美波町役場由岐支所	TEL0884-78-1111 http://www.town.minami.tokushima.jp
	カレッタこどもの日特別イベント	5月5日	日和佐うみがめ博物館カレッタ	TEL0884-77-1110
	わいわい市場	4月2日 5月7日	わいわいkiki	TEL0884-78-1693 (中野まで)
	満石神社祭礼・おぜんざい接待	4月29日		

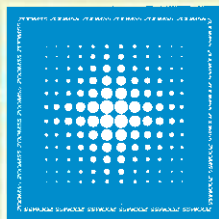
皆様のご意見をお待ちしています。

ZOOM55オリジナルバンダナ(54cm×54cm)を
先着100名様にプレゼントいたします。

■応募要項

あなたのご意見を、右のアンケートはがきにご記入の上、4月17日(月)必着でポストに投函してください。(官製はがきの応募も可)

※この情報誌は、徳島県の道の駅にも置いてあります。FAX、メールでも応募出来ます。
FAX088-654-9164 Eメール:tokusa41@skr.mlit.go.jp



Let's Enjoy Cooking



郷土自慢の素材で 美味しくクッキング!

東四国一の漁獲量!

素材の味を活かす、定番!サザエの壺焼き

阿南市近海で獲れるサザエは、身も引き締まり、極上の味わいです。

- 材 料/サザエ、しょう油、酒、砂糖
- 作り方
- ①しょう油2に対し、酒1、砂糖少々(お好みでお入れ下さい)の割合でだし汁を作ります。
- ②サザエを網にかけ安定させます。火にかけて少ししたら、作っておいただし汁を入れます。
- ③香ばしい香りがたち、煮汁が消えたらできあがりです。



「わくわく日曜市・海都」4月2日と5月7日に開催されます。

今回は橘町で活躍している「海都」のおすすめ料理「サザエの壺焼き」をご紹介します。「海都」は、自分たちの住む町を活性化したい、という有志の集まりです。毎月第一日曜日に「わくわく日曜市・海都」を開催し、地元でとれた新鮮な魚介類や農産物をお安く販売しています。他にも、手作りの製品やたこ焼きなどをたくさん取り扱っています。是非一度「わくわく日曜市・海都」にお立ち寄り下さい。

「サザエの壺焼き」「はもめし」の他、旬の素材を使った地元料理に出会えます。



生きた魚も見られるので、子供にも人気の市となっています。ご家族連れでおいで下さい。

お問い合わせ先/わくわく日曜市・海都実行委員会
NPO法人 海都事務局(担当:沖野) TEL/FAX 0884-21-7003

切り取り線

郵便はがき

料金受取人払
徳島中央局
承認
314

7 7 0 8 7 0 3

差し出し有効期間
平成19年9月1日
まで(切手不要)

徳島県徳島市上吉野町3丁目35

国土交通省四国地方整備局
徳島河川国道事務所
ZOOM55係 行



フリガナ

お名前 (歳)

ご住所 〒

電話 () -

※お客様の個人情報、第三者に提供することはありません。

アンケートはがきを送ってください。

●本誌に関するお問い合わせは

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所ZOOM55

徳島県徳島市上吉野町3丁目35 TEL(088)654-9162 http://www.toku-mlit.go.jp